

情報メディア学部 情報メディア学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 育成すべき人材像

情報社会の中で価値ある情報を見極める能力を身につけ、国際的な視野と感覚を持った人材を育成するとともに、デザインとテクノロジーを融合したデジタルコンテンツや情報技術を創造し得る人材を育成します。それは、人にとって使いやすくわかりやすい、人のためのデジタルコンテンツや情報技術の創造となります。学生が身に付けるべき能力として ①～⑥に対応させた育成すべき人材像を示します。

- ①生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力
 - ・学ぶ意義を理解できる人材
 - ・自らの目標を持ち、生涯にわたりその実現のために行動できる人材
- ②IT 社会に役立つ高度な情報技術と専門知識
 - ・幅広く情報技術およびメディアコンテンツ制作技術を身に着けて世の中の進歩に貢献できる人材
- ③国際感覚やモラルなど豊かな人間性
 - ・異文化を理解し、国際感覚に優れた人材
 - ・社会、文化、倫理的な側面を理解し、行動できる人材
- ④コミュニケーションとプレゼンテーション能力
 - ・市民としての倫理観と自覚を持ち、社会に貢献できる人材
 - ・高度なコミュニケーション能力を備え、チームワークを得意とする人材
- ⑤自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力
 - ・発想力・企画力を備え、人に優しい情報技術およびメディアコンテンツを生み出せる人材
- ⑥知識のみではなく生きるための知恵
 - ・物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えた人材
 - ・情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材

2. 学位授与の方針

所定の単位を修得したこと、すなわち、育成すべき人材像に対応して定めたコンピテンシーを身につけ、育成すべき人材になっていると認めた学生に「学士（情報メディア学）」を授与します。